

しゃつきー



しゃつきーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です。

- 第13回厚岸町社会福祉大会
- 生活支援コーディネーターのウォーキングマップ
- 平成30年度敬老記念品授与式（心和園）
- デイサービスセンター敬老会
- ニュース&トピックス「鋼身協スポーツ交流会」ほか
- じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金



9月18日、老人クラブ社会奉仕の日協賛事業として、今年も老人クラブ会員32名が、厚岸樹木園内の歩道のチップ敷き等を手伝いました。



第13回厚岸町社会福祉大会

去る8月25日（日）、厚岸町社会福祉センターにおいて「第13回厚岸町社会福祉大会」が行われました。この大会は5年に一度、厚岸町における福祉課題を参加者とともに考えるために開催し、今回は藤里町社会福祉協議会会長の菊池まゆみさんを講師に迎え「地域福祉の可能性」と題して講演いただきました。このほか社会福祉事業に貢献された方や、小中学生を対象とした「ふくし川柳」の入選者の表彰を行い、厚岸町社会福祉協議会の大野繁嗣会長から賞状と記念品が手渡されました。

ふくし川柳入選者

■社会福祉協議会長賞（敬称省略）

おとしより 厚岸小学校一年 久保田来夢	たすけあう 厚岸小学校四年 石川実乃璃	さしのべた 厚岸小学校五年 石川晴瑠菜	あいさつと 真龍中学校三年 亀井 茉彩
大きいこえで ごあいさつ	その心こそ たからもの	その手の思いは あたたかい	笑顔で作ろう 福祉の輪

■ 優秀賞（所属・氏名のみ）（敬称省略）

小学校低学年の部 山岡すみれ（真龍小2年）
 小学校中学年の部 菅野 葵瑚（真龍小4年）／遠藤 茉央（真龍小4年）
 小学校高学年の部 河村 瑛太（太田小5年）／堤 乃葵（真龍小5年）
 中学校の部 中屋 瑠菜（真龍中1年）／小川奈々愛（太田中3年）

■努力賞（所属・氏名のみ）（敬称省略）

畠山 藍斗（厚岸小3年）／河越 陽菜（厚岸小3年）／平岡 暖華（真龍小3年）
五十嵐衣澄（厚岸小4年）／坂井 太一（厚岸小5年）／鈴木 心絆（真龍小5年）
山室 怜（真龍小6年）／南谷 匠輝（真龍小6年）／藤本 一沙（真龍中1年）
大門 美海（真龍中1年）／塚田 萌由（真龍中1年）
本庄礼和・工藤紅愛・佐藤真愛・寺澤未来・五十嵐陽哉（共作：真龍中2年）

ふくし川柳入選者

■社会福祉功労者並びに感謝状受賞者（敬称省略）

民生委員・児童委員としての功労：江幡満、久保田春男、阿部勝治、久保康子、堀見憲一
遺族会代議員（集金員）としての功労：平澤進、北澤ヨシ子、石戸谷貢

老人クラブ役員としての功労：前田信智

社会福祉協議会職員としての功労：山城美奈子、山本明子、外館靖、竹ヶ原裕美、杉本裕樹

心和園の職員としての功労：橋本麻耶、田中由貴子、三浦文、福田ゆか、栗谷川京子
若松孝子、中村由紀子、風嵐玲子、加藤嘉史、石田喜美代
宇佐美いつ子、加藤真奈美、江幡朋子、叶内翔大

デイサービスセンターの職員としての功労：小林裕美子、小笠原晶子

障害者支援事業所役員等の功労：小野寺敏雄、三浦仁、番藤ヨリ、田上智文、安部孝之
中村愛実、小野育子

ボランティア奉仕活動（5年以上）：黒田彌生、佐藤砂智子、福田明美、平田とみ子

■金品寄贈（敬称省略）

車両寄付（中古車）：斉藤健一

法人本部へ寄付：佐藤武志

心和園へ寄付：小島克巳、乙部稔、今貞彦、米澤町子



【講演】

地域福祉の可能性～福祉職だからできる支援

藤里町社会福祉協議会会長の菊池まゆみ氏による講演は、福祉を支える人づくりや介護予防のための健康・生きがいがづくり等引きこもりの支援から、地域による地域活性化に繋げる「福祉でまちづくり」を行い、次世代の担い手発掘に汗を流し、福祉職だからできる支援について語っていただきました。

藤里町で実施した活動が、地域の支援に繋がり、結果として地方創生や地域共生社会に向けた取り組みに発展しています。

厚岸町社会福祉協議会では、今年度より「生活支援体制整備時事業」を町より受託し、地域で地域を支える仕組みづくりを展開していきますが、今、地域で必要な資源や人づくりや繋がりなどを、皆さんと一緒に考え、形にして行きたいと考えています。



前夜祭！！

第6回 チャリティー ビアパーティ

(下) 厚岸ウイスキー「ニューボーン2」



(上) 町長の御発声で「カンパイ！！」



社会福祉大会の前夜祭として社会福祉センターを会場に8月25日(土)、地域福祉事業資金造成を目的としたチャリティービアパーティを開催し、約300名の方が来場されました。

当日は、主要メーカーのビール4銘柄の他、シークレット企画として、厚岸蒸留所のウイスキー「ニューボーン2」の試飲や、抽選会では鮮サンマや乳製品の詰め合わせなどの景品があり、会場は大いに盛り上がりました。

当日の収益は、会券収入766,500円で、かかった経費435,703円を差し引きし、330,797円がチャリティー益金となりました。この益金は、北海道胆振東部地震の炊き出しなどボランティアセンターで活用したほか、町内の福祉活動への助成の財源として活用させていただきます。皆さんの多大なるご理解・ご協力を頂き、誠にありがとうございました。

(表) チャリティービアパーティの収支報告

■収入の部		
雑収入	766,500	会券1,500×511枚
計	766,500	①
■支出の部		
給食費	321,180	オードブル他
事務消耗品費	10,684	コップ他
教養娯楽費	85,471	抽選会費
印刷製本費	3,888	会券紙代
通信運搬費	7,298	郵送料
雑支出	7,182	クリーニング代
計	435,703	②
■収支差額		
差額	330,797	①-②



(上) 景品が当って喜ぶ参加者

生活支援コーディネーターの ウォーキングマップ

○釧路地区ボランティア研修会で活動報告をしました



釧路地区でボランティア活動を行う実践者と推進者が、活動のすそ野を広げ、資質の向上を目指して研修会を行っています。

今年度は8月24日に鶴居村で行われ、総勢140名の方が参加されました。

午前は「こども食堂」についての活動報告や意見交換、午後からは生活支援コーディネーターの活動報告と、今後のボランティア活動についてグループワークが行われ、活発な意見交換となりました。

厚岸町の生活支援コーディネーターとして私の報告では、生活支援体制整備事業の目的や財源の説明に加え、現在厚岸町で行われているいくつかのサロンについて紹介し、最後にコーディネータとして「人と人をつなぎ、みなさんが気軽に話せるような、地域のオアシス的存在になれば・・・」と締めくくりました。

今後、町内でも開催を検討している「こども食堂」に関し

て、開設に至るまでの過程や運営方法などを聞く事ができ、とても有意義な時間となりました。



(写真) くしろこども食堂「いただきます」代表加藤さん

コーディネーターのひとりごと

先日の北海道胆振東部地震では、全道的に停電が起きました。みなさん、不便や困りごとはありませんでしたか。

私事ですが、恥ずかしながら災害の準備を全くしておらず、途方に暮れていたところ、友人や職場の方々の助けがあり、電気の復旧まで何とか生活できました。備えあれば憂いなしとはまさしくこのこと。これを機に

防災グッズを揃えようと思いません。

さてこの災害を期に、社協の地域福祉活動の一環として、地震翌日、社協周辺の高齢者宅を巡回しました。「気にかけてくれる近所の人もいて困りごとは今はなく、備蓄もあるから心配ないよ」との声が多く聞かれました。巡回していて感じた事は、当たり前ですが、やはり地域の

方が一番地域の事を把握し理解しているんだなと痛感し、もっと地域に浸透した活動を心がけたいと思いました。

未だに避難生活をされている方を思うと不謹慎かもしれませんが、停電初日の満天の星空は本当に綺麗でした。その光が未だ苦勞されている方々を少しでも癒す光となればいいなと感じました。

《問合せ先》

厚岸町社会福祉協議会 総務地域課 担当：柏木（生活支援コーディネーター）

TEL 52-7752 FAX 52-6044

★★★厚岸町立特別養護老人ホーム心和園★★★

◆◆◆平成30年度敬老記念品授与式◆◆◆



[下]敬老記念品授与者の皆さま

9月16日に心和園地域交流ホールにおいて敬老記念品授与式を開催いたしました。

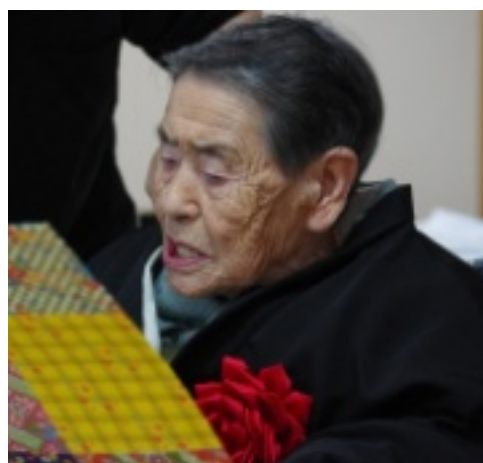
今年度の長寿祝金該当者は傘寿（80歳）2名、米寿（88歳）8名、白寿（99歳）2名です。

今年もこの式典に際し、町内にお住まいの堀部禮子様からお花の寄贈がありました。また和太鼓グループ「鼓魂絆纏（ここんばんてん）」の皆様の演奏、多数のご家族様のご参加もありました。本当にありがとうございました。

和太鼓の演奏の際には感極まって涙を流されている方、肩を震わせながら鑑賞されている方もいらっしゃいました。

白寿の川村キヨノ様、米寿の堀笑子様からは、大変立派な謝辞をいただきました。

今後も職員一同、皆様がより一層楽しく日々を過ごせるように努力していきたいと思っております。



[左]大役を果たした白寿の川村キヨノさん



[右]謝辞を述べられる米寿の堀笑子さん



[上]鼓魂絆纏（ここんばんてん）の和太鼓



[左]堀部禮子さん寄贈のお花

◆◆◆地震津波防災避難訓練◆◆◆

8月23日に地震と津波を想定した防災避難訓練を利用者にもご協力いただき実施しました。

避難訓練では、車いすの利用者を職員が移動介護し、正面玄関前につけたリフト付きの福祉車両に乗り込み、実際の避難場所である裏山に避難したり、地域密着型介護老人福祉施設（ユニット）では、利用者が職員に誘導されながら避難口まで移動する避難のシュミレーションを行いました。

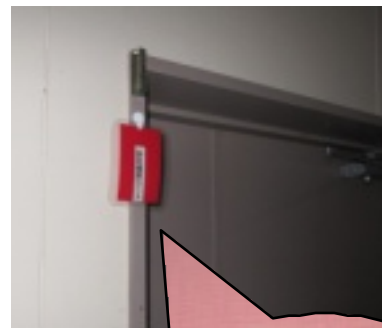
また、今回の訓練より、防災確認シートを施設内の各居室はもちろん、扉のある部屋すべてに設置（計108か所）し活用しました。この防災確認シートは、昨年度に実施した先進地視察で訪問した施設を参考に当施設でも今回の防災訓練より用意したものです。

火災や地震、津波などの災害時に施設内から避難する場合に、各部屋の避難の完了を確認するごとに、この防災確認シートを外します。それにより、避難できていない人の存在や、一度確認した場所をもう一度確認することを防ぎます。

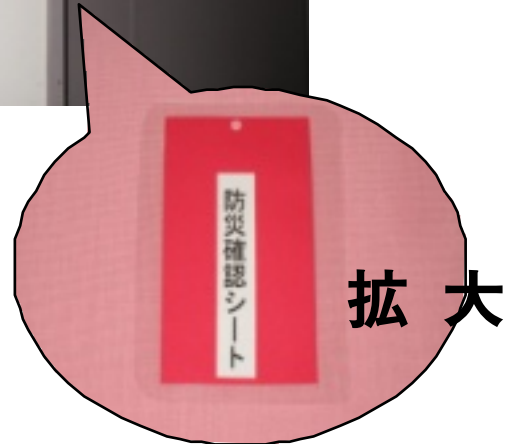
災害はいつ起こるかわかりません。その際にあせることのないよう、利用者が安心できるよう今後も万全の対策を行っていきます。



防災確認シート



扉のあるすべての部屋に設置した防災確認シート



[上] 地域密着型介護老人福祉施設（心和園ユニット）で職員に誘導されながら避難する利用者

[下] 正面玄関からリフト付き福祉車両に乗り込む避難を進める利用者





在宅老人デイサービスセンター 敬老会

[下]懐かしい歌に酔いしれながらバンド演奏を楽しみます。

デイサービスセンターでの敬老会行事は、今年9月12日(水)～14日(木)の3日間の開催となりましたが、例年の趣向とは変え、日頃、活発な慰問活動をしている皆さんに協力をしていただくことで、それぞれ違ったイベントを楽しむことができました。

1日目はおやじバンド柳舞(やなぎのまい)の皆さまの演奏。会場に響く生バンドの懐メロの演奏に利用者の皆さんは聞き入りました。

2日目は歌謡アカデミーの皆さまによる歌謡ショー。町内有志の出演者のプロ顔負けの美声にみんながうっとり魅了されました。

3日目は億万長者ゲーム。面白おかしく二人羽織をする職員や利用者の姿に笑いが広がり大変盛り上がりました。

慰問の皆様の御協力により、盛大なお祝いの会となりました。皆様の楽しげな様子をご覧ください。

[下]皆さんの笑顔の写真が取れました。敬老会の3日間を楽しんでいただけましたでしょうか？



[左]歌謡アカデミーのメンバーのしびれる歌声が響き渡ります。



[左]億万長者ゲームで二人羽織。利用者も大活躍！

[ニュース&トピックス] NEWS & TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。

笑顔と笑い声が響き渡る 釧身協スポーツ交流会

去る8月29日、今年度より新しい交流の場として、釧路地区身体障害者福祉協会主催のスポーツ交流会が、釧路市障害者教養文化体育施設（サン・アビリティーズくしろ）で行われ、厚岸町分会から8名が参加しました。

チームは町村に関係なくランダムに構成され、チーム内での交流が図れるよう考慮されています。内容は軽スポーツで、パットゴルフやカーリングゲームなど、障害をお持ちの方や高齢の方でも気軽に参加できる内容となっています。

この交流会には、釧路管内から総勢52名もの参加があり、参加した会員からは、「初めての競技も多く本当に楽しかった！」との声があり、来年の開催を今から楽しみにしているようです。

高齢者の交通事故防止を誓う 町老連交通安全のつどい

厚岸町老人クラブ連合会では、交通事故がない安心と安全な町づくりを目的に、毎年「交通安全のつどい」を開催しており、今年は9月4日に開催し、会員19名が参加しました。

当日は、会員より集めた署名簿761名分を厚岸警察署に提出し、自分たちが加害者や被害者にならないよう、交通ルールを守り、交通事故防止の意識を持ち続けることを誓いました。



[左]くじで引いた短いクラブで真剣に的を狙います



[下]階段のことを忘れられるくらい綺麗な消防庁舎屋上からのオーシャンビュー



[左]気をつけることを改めて考える機会となった交通安全のつどい。

その後、地域交通課の水上市より、DVDの映像を流しながら運転時の注意点等の講話をいただき、反射材の効果も体験しながら、参加者は交通安全を再認識しました。

たまには、みんなで外出！ 9月のふれあい会食会

毎月開催の高齢者を対象にしたふれあい会食会では、9月13日に、たまには外出の機会として、厚岸消防庁舎と給食センターの見学に出かけました。

新しい厚岸消防庁舎では、最新の設備や機材に驚いたり、展示さ

れた手押しの消火ポンプを懐かしがったりと見学を楽しんだほか、やっとの思いで階段を上った屋上からの厚岸の海の景色に参加者たちは感動していました。

給食センターでは、学校の児童生徒と同じ給食メニューをおなか一杯いただき、帰りのバスでは、片無去にあるNPO法人のんき村の皆さんが手入れしている満開のコスモス畑に寄り道して、久しぶりのあっけし散策のドライブも楽しみました。毎回、色々なイベントを企画している「ふれあい会食会」。興味のある方いつでも社協まで連絡ください。

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に展開されます。

本運動の基本的な理念や、必要性をご理解いただき、皆さまのな
お一層のご協力を切にお願いいた
します。

厚岸町の目標額は
2,350,000円です。

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金運動は、「じぶんの町を良くするしくみ」として、地域と一緒に福祉を進めていくための運動です。

皆さんから寄せられた募金の多くが、地元厚岸町のために還元されます。



寄付金の使いみち

社会福祉活動や老人クラブ活動、障がいのある方などを支援する活動資金として活用されます。

平成30年度の助成団体と助成額は下表のとおりです。

30年度共同募金助成団体と助成額（厚岸町）

【全道を対象とした道地域助成（A助成）】		
厚岸町社会福祉協議会	厚岸町立厚岸小学校（平成30年度ボランティア指定）	100,000円
【厚岸町を対象とした市町村地域団体助成（B助成）】		
厚岸町老人クラブ連合会	会員濃蒸交流会 高齢者生きがい事業	120,000円 60,000円
厚岸町障がい者・児を持つ親の会「なないろ」	レスパイト事業	150,000円
厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル実行委員会	こう福祉21	150,000円
身体障害者福祉協会厚岸町分会	町外研修旅行	50,000円
厚岸コミュニケーション障害の会	会員研修旅行	40,000円
北海道難病連厚岸・浜中支部	医療講演会	30,000円
厚岸町地域子ども会育成連絡協議会	野外活動体験事業「親子でるる」	30,000円
ちいさな絵本箱	読み聞かせ事業	30,000円
厚岸町社会福祉協議会	社協だより「しゃっきー」発行	476,930円
	ふれあい会食会	150,000円
	ふらっとニコニコ広場	150,000円
	たすけあいチーム助成事業	140,000円
	厚岸町社会福祉大会	100,000円
合 計		1,776,930円

北海道胆振東部地震災害による義援金を募集しています

平成30年9月6日(木)未明に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」により、各地で人的被害をはじめ、家屋の倒壊等の甚大な被害が発生し、厚真町、安平町、むかわ町をはじめ北海道全179市町村に災害救助法が適用されました。

この度の災害により犠牲になられた方へお悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

これらの未曾有の事態を憂慮し、北海道共同募金会及び各市町村共同募金委員会窓口において、被災された方々の救援を目

的に義援金募集を行っています。厚岸町では社会福祉センター窓口に募金箱を設置しています。

■受付期日／平成31年3月31日まで

■その他／ご希望の場合は領収書を発行します。

赤い羽根共同募金運動のおいたち

むかし、ヨーロッパのある村で一人の牧師が、道端の樫の木に「与えよ、取れよ」と書いた箱をつるしておきました。生活に困っている人や病人、老人を助けるものでした。

これを見た村人の中で、多少とも余裕のある人はその箱の中にくらかのお金を入れ、困っている人は箱の中から必要なだけのお金を引き出して役立てたということです。

この牧師の精神「たすけあいのこころ」が、現在の赤い羽根共同募金運動に受け継がれたちいわれています。

いろいろな募金方法

募金協力には、いろいろな方法がありますが、厚岸町では次のような種類があります。

■戸別募金／自治会を通じて、世帯ごとに募金をお願いします。

■法人募金／企業・団体・商店などを訪問して募金をお願いします。

■街頭募金／人の集まる場所、イベント会場などの街頭に立って募金をお願いします。

■学校募金／福祉教育の一環として、学校を通じて募金をお願いします。

■職域募金／企業、団体単位で職員に呼びかけ募金をお願いします。

助成を希望する団体を募集しています

赤い羽根共同募金は、地域の福祉団体やボランティアなどの地域福祉活動を資金的に支えるための募金になりますが、事前に使いみちを計画し募金目標額を決める計画募金の性質があります。

翌年度の助成ため、今の段階から助成申請の希望をお聞きする必要がありますので、自分たちの活動に役立てたいなどの希望がありましたら、お気軽に下記まで連絡ください。

【連絡先】厚岸町共同募金委員会事務局 ☎52-7752

ご当地キャラ 赤い羽根共同募金バッジ

うみえもん

厚岸町では次のようなバッジも取り扱っています。



※取扱い場所は、社会福祉センターで、うみえもんバッジは、味覚ターミナル・コンキリエ、漁組直売店等でも取り扱っています。

すべてのバッジが500円募金で1個プレゼント！
製作費を差し引いた金額が募金となります。

社協の 掲示板

社協情報を
お知らせする掲示板

寄付・寄贈ありがとうございます

社協に対し、下記のとおり寄贈がありました。
皆さまの善意ありがとうございます。

(掲載は7月～9月分)

【寄付金】▼一般寄付 黒田吉造さん30,000円
(心和園に)

【寄贈品】▼心和園 尿とりパット/オートショッ
プなかがわ、オムツ/阿部豊子さん、スポンジ、
ブラシ、オムツほか/藤本光雄さん、古布/高
橋ヒロさん、ぞうきん/別當尚子さん

▼デイサービスセンター 紙パンツ・オムツほ
か/吉田榮子さん

※寄付・寄贈の際には

寄付・寄贈を受ける際に、「だれのために」
「どのような事業に」など、希望する使い道を
確認させていただきます。

厚岸町障害者(児)ふれあいフェス ティバルこう福祉21のご案内

障害者の理解を深めるため、障がい
に関するさまざまな活動を紹介するポ
スターセッションや壇上発表のほか、
「見る」「聞く」「体験」のコーナー
があります。福祉関係者だけでなく、
どんな方でも楽しめるイベントです。

■と き/10月28日(日)

■ところ/厚岸町社会福祉センター

■問合せ先/社協☎52-7752、もしくは
町保健福祉課障害福祉係☎53-3333

■その他/詳細は、町内のお店に掲示
されるポスターや配布されるチラシを
ぜひご覧ください。



私たちが社協で働いています。

在宅介護課(ケアマネ+ヘルパー事業所)の課長をしています奈尾和哉と申します。

福祉業界で働き始めて早や約四半世紀、北海道に移り19年目、厚岸町で働き始めて6年目、そして町内に住み始めて3年目を迎えました。

障がい者施設の介護職を皮切りに、特別養護老人ホーム、老健施設、通所施設の相談員、在宅のケアマネジャー、そして厚岸町では、地域福祉の推

進を図る社会福祉協議会に勤めることができ、自分の仕事に対する視野が更に広がったように感じています。

2年前からは新たに”あんしんサポートセンターあつけし”という成年後見制度や権利擁護に関わる事業の担当となり、日々刺激的に仕事に取り組んでいます。

今後とも福祉専門職として町民のみなさんお役にたちたいと考えています。



在宅介護課長
(兼)居宅介護支援事業所長
(兼)介護支援専門員
奈尾 和哉

厚岸町社協広報『しゃっきー』

2018.10/No. 165【編集】広報委員会(以下、委員)米内山紘輝、中野絹恵、柏木由起子、杉本裕樹、山城美奈子、五十嵐愉美、本庄祐長、小笠原晶子

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会
〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地
厚岸町社会福祉センター内
TEL 0153-52-7752 FAX 0153-52-6044
mail info@akkeshishakyo.or.jp/